

H31.2 実施 茨木市立西河原小学校 学校教育自己診断

H31.3 分析・発行

【保護者実施 結果】

全学年 保護者

番号	各 設 問 内 容	全学年 保護者			集約結果に対するコメント
		肯定的な回答の割合	否定的な回答の割合	無回答(※)	
1	学校は、教育活動や方針などを学校だよりや学年だより、ホームページ等でわかりやすく伝えている。	88%	12%	0%	概ね、肯定的な評価を得ていますが、約4人に1人の方にわかりやすく伝わっていないのが課題です。改善すべきところは改善し、ホームページ等で発信していきたいと思います。
2	学校は、保護者・地域の願いに応えようとしている。	88%	11%	1%	今後も保護者、地域とのつながりを丁寧に積み重ね、願いに応えられるよう努力していきたいと思います。
3	学校は、家庭への連絡などをきめ細かく行っている。	84%	16%	0%	災害時、学級閉鎖、子どもたちの安全見守り等の緊急連絡はミマモルメでお伝えしていきます。子どもの様子などは電話連絡、家庭訪問で丁寧にお伝えしていきます。
4	学校は、いじめの早期発見に関する取組みを行っている。(心のアンケートなど)	68%	27%	5%	4. 5のいじめに関するアンケート結果は、学校として真摯に受け止めていきたいと思っています。どの学校においてもいじめの事案は起こります。普段からの子どもたちの様子、子ども同士の関係をしっかりと把握し、全教職員で情報を共有し、早期発見、早期対応を組織として取り組んでいきます。また、子どもたちにおいては、クラスの友達に対する嫌がらせ、からかいをはじめとする行為に対して、「それはおかしい」と言える子どもたち、集団を育てていきたいと思っています。
5	学校は、いじめが起きないような取組みを行っている。(特別活動や学級活動、道徳)	75%	20%	5%	
6	学校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。	81%	19%	1%	学校教育目標における、子どもたちに豊かな心と自分の夢に向かっていく考えを育てることを、人との出会いを大切にしながら、道徳、総合的な学習の時間等で取り組んでいきます。
7	学校は、いのちを大切にす心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	87%	11%	2%	道徳、総合的な学習の時間(学年に応じた人権学習)を通して、命を大切にす心育てていきます。社会のルールは、様々な学校生活や体験の積み重ねの中で育んでいきます。
8	学校は、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	79%	18%	3%	上記6. 7に同じです。
9	学校は、子どもに様々な困難を乗り越えることができる「生きる力」を育てようとしている。	72%	24%	3%	自分のことがすき、自信があるという自尊感情を育てることが、困難に向き合う生き方のベースとなります。子どもたちの自尊感情を学校生活の様々な場面で育んでいきます。
10	学校は、子どもに体力がつくような取組みを行っている。	88%	12%	0%	本校では、子どもたちの体力がつくように、年間を通して体力づくりの取組みを行っています。子どもが楽しんで参加できる活動を、これからも体育委員会が中心となって取り組んでいきます。
11	学校は、子どもに読む力を育むため、読書活動や学校図書館の充実に努めている。	87%	13%	0%	子どもたちにとって読書との出会いは、興味、関心の心を育て、読解力のベースとなります。今後も図書館整備、図書館活動の充実に努めていきます。
12	学校は、保護者が授業を参観する機会を適切に設けている。	96%	4%	0%	今後も学校での子どもたちの頑張っている様子、授業、クラス、学校の様子を見ていただく各学期の授業参観、懇談を設け、開かれた学校づくりに努めていきます。
13	学校は、子どもが保護者や地域の方々と交流する機会を設けている。	91%	9%	0%	子どもたちは、保護者、地域の方との出会い、交流の積み重ねの中でたくさんの学びを得て、育っていきます。今後も人との出会いを大事にしていきます。
14	学習内容について、学年だよりや懇談などによって知ることができる。	95%	5%	0%	主に学年だよりで、学習する内容をお知らせしています。懇談では、普段の子どもたちの学習での頑張りをお伝えしていきます。
15	運動会などの学校行事は、子どもが意欲的に参加できるように工夫されている。	92%	8%	0%	運動会をはじめとする学校行事の主役は、子どもたちです。子どもたちが意欲をもって参加できるよう、子どもたちの実態に応じた行事を今後とも取り組んでいきます。
16	災害時の対応について、児童や保護者にその際の訓練が行われ、周知されている。(児童引き渡し訓練など)	87%	13%	1%	昨年6月、私達は大きな地震を経験しました。この経験を基に避難訓練、引き渡し訓練の充実に取り組んでいきます。また、地域主催の自主防災訓練への参加も呼び掛けていきます。
17	学校の施設・設備には満足している。	75%	25%	0%	まだまだ改善すべき施設、設備の箇所は多くあります。今年、特別教室のエアコン工事が終了しました。来年度はエレベーター工事が始まります。今後も少しずつ改善されていく予定です。
18	先生は、子どもの能力や達成度を適正に評価している。	87%	12%	1%	教職員は日々、様々な学校生活の中で、子どもたちの頑張り、達成度を把握し、評価する努力をしています。今後も、その努力を積み重ねていきます。
19	あゆみには子どもの学力や達成度がわかりやすく書かれている。	79%	21%	1%	あゆみは、子どもたちの学力、達成度を載せています。あゆみでは伝わらない子どもたちの頑張りや達成状況については個人懇談等で丁寧にお伝えしていきます。
20	先生は、子どものことについての相談に応じてくれる。	90%	10%	0%	全教職員で、本校の子どもたちを見守ることを大切にしています。子どもの相談については、まず担任が窓口となり、その後状況に応じて管理職も含めて相談に応じていきます。
21	先生は、子どもをよく理解してくれている。	85%	15%	0%	上記20と重なりますが、全教職員で普段からの子どもたちの声、つぶやきに耳を傾け、子ども自身が心を開いて話ができる信頼関係を大切にしています。
22	子どもは、「授業がわかりやすい」と言っている。	82%	17%	1%	4分の1のご家庭の子どもたちが、授業の中でわからないことがあったり、自信が持てないことが実態です。この子たちが授業で自信やわかる喜びを感じられる授業改善に努めていきます。
23	子どもは、「学校へ行くのを楽しんでいる」と言っている。	86%	14%	0%	上記22と重なりますが、「学校が楽しくない」と感じている子どもたちの気持ちを受け止め、その子どもたちが頑張れる、居場所を感じられる学校づくりをめざしていきます。
24	あいさつに関して、学校での指導が十分されている。	84%	16%	1%	本校の子どもたちは、登校時、下校時ともあいさつを頑張っています。学校での指導はもちろんのこと、地域で見守っていただいている方からの声掛け、そして太田中・三島中の生徒によるあいさつ運動の成果も出ていると思います。
25	あいさつに関して、家庭での指導も有効だと感じている。	95%	5%	0%	あいさつは基本的な生活習慣の最も大切なことだと思います。ご家庭での日々、子どもたちへの声掛けほど大きな支援はありません。今後ともご家庭での声掛けをよろしくお願致します。

H31.2 実施 茨木市立西河原小学校 学校教育自己診断

【児童実施結果】

H31.3 分析・発行

番号	各 設 問 内 容	123年 児童		456年 児童		全学年 児童		集約結果に対するコメント
		肯定的な回答割合	否定的な回答割合	肯定的な回答割合	否定的な回答割合	肯定的な回答割合	否定的な回答割合	
1	あいさつをすることができる。	99%	1%	93%	7%	96%	4%	登校、下校とも子どもたちはあいさつがしっかりできています。これからもあいさつができる子を育てていきたいと思います。
2	しっかり話を聞くことができる。	85%	15%	89%	11%	87%	13%	概ね、話をしっかりと聞けています。授業中、集会のときなど子どもたちは頑張っています。
3	ともだちと仲良くしている。	92%	8%	94%	6%	93%	7%	子どもたちは、周りのともだちを大切にしている場面が多く見られます。互いに違いを認め、違いを豊かに思える子どもたちを育成していきたいと思います。
4	ともだちを大切にしている。	92%	8%	96%	4%	94%	6%	上記3と同じです。
5	学校では何事にもあきらめずに頑張るようにしている。	89%	11%	80%	20%	84%	16%	多くの子どもたちが自分と向き合い、頑張っている様子が伺えます。頑張れなかったことも肯定的に見守りながら、次につながるように支援をしていきたいと思います。
6	学校でのルールを守るようにしている。	92%	8%	89%	11%	90%	10%	学校には、集団生活をするうえで多くのルールがあります。多くの子どもたちがそのルールを守っています。ルールを守り、子どもたちが安心して学校生活を送れるように支援していきたいと思います。
7	夢や目標をもっている。	90%	10%	78%	22%	84%	16%	学校教育目標に「～未来をきりひろく子どもの育成」と掲げています。教科学習、総合的な学習の時間（人権）、道徳の学習、地域をはじめ、人（ゲストティチャー）との出会いを大切に夢を育てていきたいと思ます。
8	地域行事に参加することがある。	93%	7%	82%	18%	87%	13%	多くの子どもたちが、ふるさとまつり、青少年まつりなどの地域の行事に参加しています。子どもたちは、日頃から地域の方々による登下校時の安全見守りや、総合的な学習の時間での地域の方々との出会い等、つながりが多くあります。
9	先生は私たちの話を聞いてくれる。	97%	3%	96%	4%	97%	3%	普段から子どもたちの声、つばやきをしっかりと受け止めていくことをこれからも大切にしていきたいと思ます。
10	先生にはいろいろなことを相談できる。	92%	8%	77%	23%	84%	16%	子どもたちが、先生にどんなことでも話せる関係づくり（信頼関係）を丁寧に行っていきたいと思ます。
11	先生は、いじめなど私たちが困っていることについていっしょに考えてくれる。	93%	7%	84%	16%	88%	12%	いじめの事案は、どの学校においても起こる事案です。普段からの子どもたちの様子、子ども同士の関係性をしっかりと見つめ、早期発見、早期対応をしていきたいと思ます。いじめを許さない集団を育てていきたいです。
12	先生は、がんばったことをほめてくれる。	97%	3%	94%	6%	96%	4%	私達教職員は、子どもたちの頑張りに、元気をもらっています。子どもたちの頑張りをこれからも大事にしていきたいです。
13	先生は教えるときコンピューターやテレビ、ホワイトボードなどを使って工夫をしている。	96%	4%	93%	7%	94%	6%	授業中、子どもたちの学びを深めるため、パソコン、テレビなどの機器を多く活用し視覚支援を行っています。ホワイトボードも子どもたちの発表場面で活用しています。
14	授業ではめあてを確認して、最後にはふりかえりやまとめをする。	93%	7%	91%	9%	92%	8%	子どもたちが、授業に集中し、学習意欲をもって授業に参加できるように、授業のめあてを提示し、最後にはふりかえりを行うことを、これからもどの授業でも大切にしていきたいです。
15	授業では自分で考える時間がある。	96%	4%	96%	4%	96%	4%	授業では、子どもたちが考えて見通しを立てたり、自分で考えて発表したり、子どもたちの思考力を育てることを大切にしています。
16	授業ではほかのひとと考えを話したり、発表したりすることがある。	93%	7%	90%	10%	91%	9%	授業中に隣のひととのペア学習をしたり、班などのグループ学習を行うことで、互いに学びなおしたり、新たな学びに気付くことが多くあります。これからも話し合い、教えあい、発表する場面をつくってきたいと思ます。
17	授業でわからないときに、ペアやグループで相談したり、先生に質問したりしやすい。	92%	8%	85%	15%	88%	12%	上記16に同じです。
18	「あゆみ」を見て自分の学習の様子がよくわかる。	87%	13%	91%	9%	89%	11%	子どもたちは、自分が頑張ったことに対する評価を楽しみにしています。その見方については、保護者の方にも各学年だよりで丁寧に伝えていきたいと思ます。
19	命の大切さや学校や社会のきまりなどについて学んでいる。	89%	11%	96%	4%	92%	8%	道徳、総合的な学習の時間、教科の学習をとおして、いのちの大切さ、社会の決まり等を子どもたちは学んでいます。学んだことを子どもたちから発信できることを模索していきたいと思ます。
20	自分を大切にすることや、ともだちや他の人への思いやりについて学んでいる。	90%	10%	95%	5%	93%	8%	上記19に加え、友だちの思いを大切にすることを日頃の学級活動や行事の取り組みを通して、子どもたちは学んでいます。この取り組みは学校としても大切にしていきたいと思ます。
21	地震や火災などが起こったとき、どうしたらよいか教えてもらっている。	94%	6%	92%	8%	93%	7%	昨年6月に大きな地震を私たちは経験しました。この経験と年3回取り組んでいる災害を想定した避難訓練および事前事後の学習を積み重ねていきたいと思ます。
22	遠足や運動会などの学校行事は楽しい。	99%	1%	93%	7%	96%	4%	子どもたちが校外学習、運動会などの学校行事を最も楽しみにしています。子どもの成長、笑顔、仲間とのつながりが深まる行事にしていきたいと思ます。
23	児童会や委員会活動、またはクラブ活動に意欲的に取り組んでいる。	—	—	95%	5%	95%	5%	高学年の多くの子どもたちが、委員会、クラブ活動に意欲的に取り組んでいます。学校づくりの主役は子どもたちです。その子どもたちの意欲をもって頑張る姿は、学校、地域も元気にしてくれます。